

【正誤表】

2020/04/10

書名 デリバティブ入門講義
編・著者名 根岸 康夫 著
発行日 2018年03月26日
ISBNコード 978-4-322-13243-4

p.180 第2段落

まず、現時点で額面100円分の残存3年割引債を~~94.23円~~で空売りする。同
86.384円
時に1年もの円LIBORで100円を運用する。変動金利を $L_1\%$ とすると1年

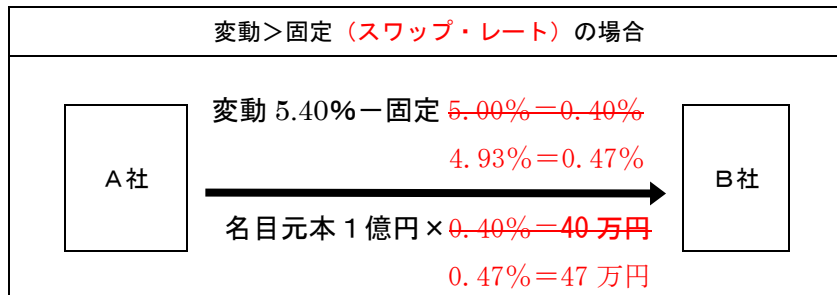
p.181 最終段落

もし3年目の1年もの円LIBORが5.40%だったとすると、スワップ・レ
ートとの差額 $5.40\% - 5.00\% = 0.40\%$ A社からB社に支払われる。%は
 $4.93\% = 0.47\%$
判明したが、送金されるのは円単位である。一体いくら送金されるのであ
うか。金額に換算するときに使われるのが名目元本（あるいは想定元本、
Nominal Amount）(*)である。名目元本はスワップ契約締結時に設定され

p.182 第1段落

る。ここでは名目元本が1億円であったとしよう。1億円の~~0.40%~~相当額、
0.47%
即ち**40万円**がA社からB社に支払われる。
47万円

(*)名目元本は資産・負債（債券・債務）として実在する必要はない。あくまでも金利に
連動して決定される「名目上」の金額の基準に過ぎず、いわば架空の金額なのである。



以上